

大島地域無加温マンゴー栽培暦

平成29年1月作成

花つり・摘果・玉つりをしっかりと、基本技術の励行で秀品率の向上を図ろう。

生産履歴を記載し、安心・安全な果実生産に努めよう。

月	旬	満開基準日数	生育相	主要管理	ハウス管理 (←→) 水管理 (←-→)	防除方法		管理・防除記録欄	
						対象病害虫	防除薬剤と希釈倍数	月/日	
9	上中下		新梢伸長期	新梢の整理 土づくり	天井ビニル除去後は ネット被覆で管理 適湿管理 新梢充実のため十分に かん水	ドクガ類	ロムゲンプロアブル 2,000倍		
10	上中下		花芽分化期	枝葉の整理 誘引 芽かき 補正せん定		↑ 節水管理 過乾燥にならないよう にし、少量かん水	炭そ病 アザミウマ類	ジマンダイセン水剤 800倍 コルト顆粒水和剤 2,000倍	
11	上中下		萌芽期	天井ビニル被覆	↓ 節水管理 過乾燥にならないよう にし、少量かん水	かいよう病	ICホルト-66D 40倍		
12	上中下					出蕾期	ツマ・サイドビニル被覆 受粉昆虫の準備	↑	チャノキアザミウマ ハダニ類
1	上中下	-50	開花始期	ツマ・サイドビニル被覆 受粉昆虫の準備	↑ 節水管理 過乾燥にならないよう にし、少量かん水	かいよう病	ICホルト-66D 40倍		
2	上中下	-30				満開期	混合花の摘葉・摘蕾処理 施肥 (30%) 受粉昆虫の導入	↑ 晴天日の午前中に かん水し、換気を行 い湿度を下げる。	[被覆直後] 炭そ病
3	上中下	0	生理落果期	花つり	↑ 晴天日の午前中に かん水し、換気を行 い湿度を下げる。	炭そ病	ベルケート水和剤 1,000倍		
4	上中下	30				果実肥大期	粗摘果・玉つり	↑ 晴天日の午前中に かん水し、換気を行 い湿度を下げる。	軸腐病
5	上中下	60	収穫期	仕上げ摘果 施肥 (20%) 見直し摘果	↑ 晴天日の午前中に かん水し、換気を行 い湿度を下げる。	灰色かび病	ロフラル水和剤 1,000倍		
6	上中下	90				日焼け対策	↑ 晴天日の午前中に かん水し、換気を行 い湿度を下げる。	アザミウマ類 ハダニ類	モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍 カネマイトプロアブル 1,000倍
7	上中下	120	収穫期	収穫ネットかけ 台風対策 ハウス補強 排水対策 収穫開始	↑ 晴天日の午前中に かん水し、換気を行 い湿度を下げる。	炭そ病	ストピートライプロアブル 2,000倍		
8	上中下					収穫終了 施肥 (50%) 整枝・せん定 天井ビニル除去 防虫ネット被覆	↑ 晴天日の午前中に かん水し、換気を行 い湿度を下げる。	(収穫後) 炭そ病	オアサイド水和剤80 600倍
					↑ 晴天日の午前中に かん水し、換気を行 い湿度を下げる。	(ハダニ類) チャノキアザミウマ かいよう病	(収穫後) ハーベストオイル 加用 100倍 スプラサイド乳剤40 1,500倍 ICホルト-66D 40倍		

※平成29年1月6日現在の登録内容を記載したものである。

施肥時期と散布量 (10a 当たり)

施肥時期	肥料の種類	10a 当たり収量		
		1.0t	1.5t	2.0t
2月上旬	奄美果樹配合	6.0kg	6.5kg	7.5kg
5月上旬	または	4.0kg	4.5kg	5.0kg
8月中旬	蜜のめぐみ2号	1.0kg	1.1kg	1.25kg
	年間窒素成分量 (kg)	16	18	20

炭そ病 発生軽減対策

- ①発病枝の除去 (発病枝・葉やせん定枝はハウス外に持ち出す)
- ②やに果の少ない果実づくり (ハウス内温度・湿度の適正化)

アザミウマ類 発生軽減対策

- ①果実肥大期の新梢は発生源になるため芽かきし、ハウス外に持ち出す。
- ②ハウス周辺の除草など、環境整備に努める。

鹿児島県園芸振興協議会大島支部

連絡先 大島支庁農林水産部農政普及課 0997-57-7274
(同) 瀬戸内町駐在 0997-72-0184